

公益財団法人宮城県結核予防会行動計画

職員の産前、産後の不安の解消及び復職支援の取り組みを強化するため、次の行動計画を策定する。

1 計画期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日までの3年間

2 内容

目標：研修の企画・立案及び対象者となる男女職員に対し、研修を年に1回以上実施する。(受講率100%)

<対策>

令和4年度 対象職員に対する研修の企画・立案と研修の実施(内部講師)
研修内容のふり返り

令和5年度 研修内容の見直しを図り、具体的な研修の立案
(内部・外部講師による社会的動向、国が推進する制度の概要等の研修)
2年間のふり返り、PDCA サイクルを回すことはもとより、継続的に研修をおこなって
いくための対策の検討及び法人内部での制度設計

令和6年度 内部講師・外部講師による研修及び法人の外部で開催される研修の受講の推進
定期的に該当職員から意見を聴取するための制度設計

公益財団法人宮城県結核予防会
女性の活躍に関する情報公表について

2022年2月28日現在

①女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供

(1) 採用した労働者に占める女性労働者の割合

(職種)	(男性)	(女性)
正職員	50.0%	50.0%
嘱託職員	88.9%	11.1%
無期職員	33.3%	66.7%
臨時職員(常勤)	18.8%	81.2%
臨時職員(パート)	14.7%	85.3%

(2) 労働者に占める女性労働者の割合

(職種)	(男性)	(女性)
正職員	36.9%	63.1%
嘱託職員	71.1%	28.9%
無期職員	33.3%	66.7%
臨時職員(常勤)	18.8%	81.2%
臨時職員(パート)	14.7%	85.3%

(3) 管理職に占める女性労働者の割合

31.5%

②職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備

(1) 男女の平均継続勤務年数の差異

男性 13.0年 ・ 女性 14.0年